

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	峯村 清一
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3622
<b>事務事業名</b>	4302 創造の家管理事業											
<b>所 属</b>	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
<b>施 策</b>	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費										
	<b>事業</b>	010000 創造の家管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
勤労青少年や市民の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。						須坂市スポーツ協会を指定管理者として、事業実施、施設管理を委託する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数				
算式	施設延べ利用者数+自主事業参加者				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績				
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者、自主事業参加者の総数を指標とした。				
最終年度	令和3年度はコロナ過のため、目標数値は定めない。				
目標の根拠	令和4年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		12,620	14,001
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,620	14,001
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	696.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	696.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,316.8	14,001.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	329	修繕料329
12節 委託費	10,826	指定管理委託料10,826
14節 工事請負費	1,298	正面玄関扉等修繕1,298
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	167	備品購入167

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,471	修繕料
12節 委託費	11,863	指定管理者委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	667	備品購入

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	やや低い
評価コメント	根拠法令の改正を受けH27に条例改正、勤労青少年の福祉向上のため市が独自で設置している状況 勤労青少年の福祉向上のための事業として継続する必要性は低い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	H27に指定管理施設に移行し、その後施設の利用者は増加している。 事業内容が社会教育、生涯学習事業と似通っている部分もあり、指定管理の内容を施設管理と自主事業のみにするなどの検討や、館内に配置のスポーツ振興係へこの事業を所管替したほうがより効果的に事業を実施できると考えられる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	老朽化した施設の長寿命化調査は実施済み 大規模な改修は行わず、必要な維持管理を実施し施設を活用していく方向	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルス感染症に施設の利用休止や事業の中止などにより利用者が前年度比33.2%の3,438人であった。  
須坂市マレットゴルフ協会、長野県マレットゴルフ連盟、指定管理者（須坂市スポーツ協会）、文化スポーツ課で協働で駐車場の区画線の張替えを実施した。

**ACTION****1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
スポーツ協会の指定管理事業となっているが、今後の施設改修のあり方や施設の存続を含め検討に入る段階に来ている。		施設改修の必要があり、時代に相応した事業のあり方を含めて存続を検討する必要がある	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	